



2021年1月13日

各 位

会 社 名 イ ワ キ 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 岩 城 慶 太 郎
(コード番号 8095 東証第1部)

問 合 せ 先 取 締 役 経 理 財 務 担 当 熱 海 正 昭
兼 務 経 理 財 務 部 長
(TEL. 03-3279-0481)

新中長期ビジョン策定に関するお知らせ

イワキ株式会社及びグループ各社は、2016年1月に発表の中長期ビジョン「Vision “i-111”」の実現へ向けて各種施策へ取り組んでまいりました。この度、新たに2030年を目標とした新中長期ビジョン「Astena 2030 “Diversify for Tomorrow”」を策定しましたのでお知らせいたします。

記

1. グループ新中長期ビジョン策定の背景

当社グループは2016年1月発表の中長期ビジョン「Vision “i-111”」の実現へ向けて各種施策に取り組んでまいりました。その結果、2020年11月期までの期間において、スペラファーマ株式会社や岩城製薬佐倉工場株式会社の譲受など、一定の取り組みの成果が出てまいりました。

そのような状況の中、当社は2020年6月17日付「持株会社体制への移行準備開始及び準備会社の設立に関するお知らせ」において公表している通り2021年6月に持株会社化を目指しており、また本年は「Vision “i-111”」の中間年にあたることから、対象期間を2030年までとした中長期ビジョンである「Astena 2030 “Diversify for Tomorrow”」を策定いたしました。

2. 新中長期ビジョン（Astena 2030 “Diversify for Tomorrow”）の概要

(1) 基本的戦略

① ニッチトップ事業の磨き上げ

当社グループにおける医薬事業及び化学品事業は、グローバル展開やカテゴリ選択により引き続き高い成長が見込めるため、これまでの戦略を継続し確実な成果をあげる。

(医薬事業)

- ・皮膚科領域をベースに、外皮用剤品目数及び生産キャパシティにおいてトップを目指す。
- ・グローバル要求水準に対応し、高活性注射剤 CDMO のトップを目指す。
- ・外皮用剤、注射剤の導入、新薬共同開発、国内外の事業提携、M&A 等により事業基盤の強化・拡大を目指す。

(化学品事業)

- ・エレクトロニクス実装市場のトレンドを捉え、ニッチトップ商品を継続的に開発する。
- ・ハイエンドパッケージ基板での地位確立、チップ部品用途の実績で台湾・中国大手での採用、半導

体パワー・センサー系薬品の更なる差別化を図る。

- ・環境負荷低減を追求し、グローバル企業との共同開発による更なる成長を進める。

② プラットフォーム事業への転換

当社グループにおけるファインケミカル事業及び HBC・食品事業は、商流や技術の中核に位置しており、今後、競争力の高い周辺領域に積極投資し、その繋ぎ合わせにより価値連鎖を実現させ、新たな価値提案を行う。

(ファインケミカル事業)

- ・CMC/CDMO 事業と調達プラットフォーム事業を 2 本柱とし、原材料調達から CMC 研究、原薬商用生産までの医薬品開発・製造の幅広いサービスを提供する。

(HBC・食品事業)

- ・原料ビジネスの DX 化により、顧客の開発・調達プロセスにおける課題解決のプラットフォームを提供。同時に独自性を高めた商品・サービスの提供で市場価値を増大させる。
- ・ダイレクトマーケティング領域への投資を行い、領域特化型のネットワークを構築する。

③ 新規事業への投資と育成

上記 2 つの基本戦略に加えて、将来の持続的ニーズを捉え、社会と共に成長していける製品(モノ)・サービス(コト)を創出し、現状の主力 4 事業に次ぐ、第 5 の主力事業を立ちあげる。

(2) 定性的戦略

① 業界の「一択」へ

- ・市場における存在感を向上させ、お取引先様にとっての随一の選択肢となる。
- ・社会・市場の変化速度に合ったテクノロジーを探索・採用しお客様の問題解決を実現する。

② ESG 経営による持続的な成長基盤を確立する

- ・コーポレート・ガバナンスの高度化により企業価値向上を実現する。
- ・社会的課題に取り組む経営人材を輩出し、組織の高いパフォーマンスを維持する。

③ 事業を自ら率先する「アステナらしさ」の体現

- ・これまでの「誠実」「貢献」「信用」に加え、多様性を積極的に取り入れる。
- ・一人ひとりがアステナグループの成長ドライバーとなる。

(3) 定量的ターゲット(連結数値目標)

売上高 : 1,300 億円以上
自己資本当期純利益率(ROE) : 13.0%以上

3. 中期の連結数値計画

	2020 年度実績 (2020 年 11 月期)	2021 年度目標 (2021 年 11 月期)	2023 年度目標 (2023 年 11 月期)	目標期間の 年平均成長率
売上高	65,341	73,000	82,000	6.0%
営業利益	2,035	2,600	4,200	27.1%
ROE	9.4%	7.7%	9.7%	-

(注) 本中期経営計画は、現時点における事業環境に基づく計画であり、今後の事業環境の変化等によっては、実際の業績が見通しと大きく異なる場合や、予告なしに変更する可能性がありますので予めご了承ください。

以上